

体験と実際のお金の取り扱い、
使い方を組み合わせた本校の
金融・キャリア教育構想

優秀賞

香川県・高松市立仏生山小学校

校長 古沢 博美

1 はじめに

現在、子どもを取り巻く環境は、ものやサービスに溢れ、お金を出せば欲しいものが容易に手に入る時代になっている。また少子化が進み、「欲しい」と言えば誰かがなんとかしてくれるという状況の中で、子どもたちは、耐性を欠き金銭感覚が麻痺する傾向にある。本校児童もこのような傾向である。そこで私は平成17年度より、子どもたちが今後社会の中で豊かに生きていく力の育成の重点として、金融教育を含めたキャリア教育を教育課程に位置付け、約3年間かけ正しい金銭感覚を培うことにした。

展開に当たっては、まず学校全体構想を作成し、主に総合的な学習の時間で行い、全学年を通じて勤労や製作などの体験と実際のお金の取り扱い体験の2体験を挿入する旨、全教員に共通理解させた。

2 校区の現状と地域に根ざした金融・キャリア教育活動の推進

(1) 家庭・地域との連携・協働体制の確立と金融・キャリア教育の位置付け

本校区は、高松市の郊外に位置し、PTA やスポーツ活動が盛んな地域である。地域の教育に対する関心は高く、学校教育に極めて協力的である。

学校経営目標を「家庭・地域に信頼されながら、健やかなさを基盤とし、確かな学力と豊かな心を身に付ける生き方の教育」とし、「楽しい学校&地域も学校」をキャッチフレーズに学校力の向上を図ってきた。学校・家庭・地域が育てる子どもの心を共有化し、地域の教育力の資質向上とともに開かれた学校経営の一環として、地域・保護者・教員より成る「楽しい学校&地域も学校ネットワーク協議会」や「外部評価委員会」を設立・推進している。そして、ともに地域課題を明確にし、本校の重点課題を設定して教育課程に位置付け、地域に根ざした教育を行っている。

地域に学習材や人材を求め、ともに学び合う機会を積極的に設け、学力を4層化し子どもたちに確かな学力が身に付くよう実践を重ねている。学力Ⅰ層では「基礎・基本の礎となる力の育成(漢字力・暗唱力・計算力の向上)」、学力Ⅱ層では「授業改善の工夫による学年相当の基礎・基本の力の育成」、学力Ⅲ層では「教科で培った学力を関連・活用した総合的な学力の育成」、学力Ⅳ層では「学力Ⅰ～Ⅲ層を生かしての生きる力の育成」をめざしている。

教育課程とこれらのⅣ層構想を一体化し、子どもたちに「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく備えた総合的な人間力を身に付けさせるため、学力Ⅲ層を中心に金融・キャリア教育を展開してきた。特に、生活科・総合的な学習(本校では「ちきり学習」)を中心に他教科・道徳・特別活動との関連を図りながら金融・キャリア教育を推進し、家庭との連携・協働学習を通して健全な金銭感覚をもち、将来に夢や希望を描きたくましく生きようとする活力的な子どもの育成をめざしてきた。また、金融・キャリア教育を通して、家庭・地域の協働のもと学校と地域が一体となって地域の伝統文化を守りつつ、新しい時代の担い手として、地域の行事に進んで参画していける子どもたちを育てたいと願っている。

(2) 金融・キャリア教育のねらいと各学年の学習内容 (添付資料1・2)

本校の金融・キャリア教育のテーマは「人・もの・自然・金銭 一値打ちを知り、大切にし、生かす」である。全体計画を作成し、人・もの・自然にやさしく正しい金銭感覚を身に付けた子どもの育成を図り、平成17年度より子どもや家庭・地域の実態に基づき実践してきた。毎年内外の評価を含めた学校評価をもとに教育課程を見直し、グローバルな視野から学習を構成し、課題を追求するためにPDCA*をサイクル化し、重点項目の改善を行った。見直しの視点は、次の通りである。

* Plan (計画)・Do (実施)・Check (点検・評価)・Act (処置・改善) の頭文字で、これをサイクル化し、継続的に業務を改善していくこと。工業の生産管理、品質管理などをスムーズにするための考え方。「仕事の基本」を表すためにも用いられる。

- ・地域に根ざした生活科・総合的な学習への改善を図り、金融・キャリア教育を充実するため、地域課題に基づき地域の人材と協働して取り組む計画を立て、各種体験を軸としているか。
- ・各学年の内容を学年の系統性や地域の特色を取り入れ、子どもの発達段階を踏まえ、学年に応じた生のお金の取り扱いを必ず体験させているか。
- ・学力Ⅲ層を中心に他教科との関連を図り、重点的・総合的な指導になっているか。

子どもたちが共通のめあてをもち、汗を流し、手間や苦労を重ね、知恵を出し合って本物のお金を得る体験を通してお金の値打ちの分かる子どもが育つと考える。そこで、家庭・地域の参画意識を高め、子どもに正しい金銭感覚を身に付けさせるため、学習の流れを次のように考えた。



学年	金銭を得る目的	体験活動	付けたい力
1年	人形劇団「キラキラ星」を呼び、来年入学する幼稚園の友達や地域のお年寄りを招待して観劇し、楽しく過ごす。	大根の栽培・切干大根作り 秋の木の実で小物作り 親子バザー	めあての実現 ものの大切さに気付き、労働の尊さやお金の大切さに関心をもつ。
2年	自分たちで育てた花の苗を売って、みんなで楽しめる遊び道具を買う。	花の苗の栽培(10種類) 花かご作り 親子バザー	
3年	牛乳パックで紙すきをして売り、得た収入でカルタ等室内の遊び道具を購入し、舜虹苑のお年寄りと一緒に昔遊びを楽しむ。	牛乳パックのリサイクルで、はがきと紙皿作り 家族環境宣言 校内バザー	働く喜びと達成感 感謝の心 作り、作り変える体験から労働の尊さやお金の大切さに気付く。
4年	サツマイモを栽培して売り、得た収入で再び盲導犬ドリーム号を呼んだり、教科書の著者・武田正倫さんにお礼をしたりする。	サツマイモの栽培 サツマイモ料理作り 校内バザー	
5年	衣類をリサイクルして地域のバザーに出し、得た収入を学級でお楽しみ会の費用として役立てる。	衣類のリサイクルによる小物作り コマーシャル活動 PTA チャリティーバザー	勤労の喜びと尊さ 金銭を得る難しさやおもしろさを体験し、お金の価値や勤労の尊さを考える。
6年	木工製品、染め物製品、花の苗を作って地域の行事「大名行列」で売り、得た収益金を修学旅行の小遣いの一部に充てる。	木工・染め物等の製作活動、栽培活動 地域参加の販売会議とバザー活動	

本校の金融教育を通して付けたい力

- ①保護者とともに勤労の苦勞や達成感、ものの価値観を共有し、健全な金銭感覚を身に付ける。
- ②働く喜びを共有し、買う人の気持ちに立った、人・もの・自然にやさしいお店作りを工夫する。
- ③常に植物や人、もの、環境への温かい思いやりの心を伴った活動を展開する。
- ④働く楽しさを実感し、身の回りの人に感謝と「ものやお金を大切に作る心」をはぐくむ。

3 実践 (添付資料3)

(1) 生活科との関連を図った栽培・加工・製作活動と保護者参加の金融学習 (低学年)

- ①栽培活動等の豊かな労働体験を基盤にした学習活動 (働く意義と喜び)
- ②単元を通して保護者参加の学習 (ともに働く喜びを家族への感謝につなぐ)
- ③学級生活を潤す目的意識を大切に学習 (働く意欲と目的達成の喜び)

①実践事例1

第1学年 大根を育ててちきりっ子手作りなかよしバザーを開き、人形劇団を呼ぼう

生活科の栽培活動で得た知識をもとに冬野菜を栽培した。家庭学習で冬野菜について調べ、大根を育てた。調べから、大根は栄養価が高い上、古くから切干大根等の保存食として利用価値が高いことを知り、自分たちで栽培・加工し販売することになった。収入で人形劇団を呼び、交流を続けている幼稚園児や世話になっている地域の安全パトロールのお年寄りの方に日ごろの感謝の気持ちを伝えたいという願いのもと活動が始まった。バザーは、保護者参加型学習として行った。

②実践事例2

第2学年 心をこめて育てた花の苗を売り、学級に役立つものを買おう

1年生で取り組んだ切干大根作り等の地道な経験を生かし、花の苗を育てた。種まきから植え替え、日々の水やり活動を通して、商品が出来るまでに多くの労力を必要とし、お金を得るには苦勞を伴うことを経験した。また、働く意義と代価として得られる報酬のありがたさも実感した。体験を家庭で振り返ることで、家族の労働が生活の糧となっていることが分かり、ものや金銭を大切にしたいという意欲も高まった。働く喜びや願いの実現を経験し、お金の値打ちをさらに実感できた。

(2) ちきり学習・食育との関連を図った栽培・リサイクル活動と保護者参加の金融学習 (中学年)

- ①自然や環境にやさしい豊かな労働体験 (総合的な学習と関連)
- ②保護者参加学習を通して、自分たちの生活改善 (働く喜びと感謝を共有)
- ③学習の発展として役立つ資金の運用 (地域への貢献)

①実践事例3

第3学年 牛乳パックで紙すきをしてバザーを開き、遊び道具を買おう

労働体験としてリサイクル活動を取り入れた。牛乳パックや書き損じの半紙等を回収し、多くの手間をかけ、紙皿やはがきに再生して校内で販売した。紙すきショップを開くまでに、値段の決め方やたくさん売るための工夫等をリサーチし、準備した。家族参加学習で「生活マネー宣言」を行い、資源を守り生活環境を改善する方法を考えた。バザー当日は、商品の宣伝や製品が出来上がるまでの苦勞をポスターセッションで保護者に紹介した。

②実践事例4

第4学年 サツマイモを育てて販売し、得たお金で国語教科書の作者を招待したり、再び盲導犬「ドリームちゃん」を呼んだりしよう

野菜作り名人・保護者・仲間の三者のふれあいを大切に取組んだ。育てたサツマイモを売り、得た資金の効果的な運用を考えた。地域の方に畝の作り方や植え方を教わって栽培した。サツマイモについて調べるうち、栄養価が高いことや生活習慣病の予防に有効であること、昔からおやつとして幅広く利用されていることが分かった。そこで、家族参加学習を通して簡単サツマイモ料理を作って試食・販売してサツマイモのよさを共有した。得た収入は、学習に役立て有効活用した。

(3) ちきり学習中で行う栽培・製作活動と地域の行事に参画して取り組む金融学習（高学年）

- ①不要品の再利用や郷土のよさを取り入れた学習活動（自然・環境保護）
- ②地域参画型の活動展開（地域への貢献と感謝、参画意識の高揚）
- ③資金の有効活用と個人への還元（できることは自分の手で）

①実践事例5**第5学年 衣類を再生して販売し、その収益を学級活動の資金にしよう**

ごみを減らし環境を守る視点から、家庭科と関連させ不要になった衣類の再生を行った。不要品を再生し、製作・販売して各学級5,000円の学級活動資金を得る目的でスタートした。新1年生の保護者や両親を対象に必要な布製品を調査し、ニーズに合った製品作りに取り組んだ。保護者参加学習でミシンの使い方や作り方のコツを教わり、意欲的に作り上げた。学級ごとに広告・商品展示の工夫を話し合い、コマーシャルによる宣伝効果も応用してPTAのチャリティーバザーに出店した。活動を通して金銭を得る苦労や達成感、金銭の意味や価値を肌で感じ取ることができた。

②実践事例6**第6学年 単元名 手作り品を販売し、その収益を修学旅行のお小遣いに生かそう****ア 単元展開にあたっての基本的な考え**

本校における金融教育は、児童一人ひとりが自立して生きることのできる力や社会参加能力をはぐくみ、社会の形成者としてふさわしい人間形成をめざす教育につながっていかなければならない。

本単元は、キャリア教育的な視点に立って学習を展開する。「キャリア」を、家庭生活・社会生活等全ての生活の中で経験する様々な立場や役割を遂行する活動、能力としてとらえ、それぞれの個性や興味・関心にふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てることをねらいとする。

子どもたちは、生産（花の苗、木工製品、染め物製品等）から販売までの経済活動体験を通して、元金—収入—純益等の経済の様々な仕組みを学習する。それと同時に、お金を得ることの難しさやおもしろさ、生産・販売活動上の難しさや多様性などを体験する。これらの活動全てを通して、お金の意味や価値に気付いたり、働くことの重要性・尊さを実感したり、働いている人たちの努力や工夫に共感したりすることができることを期待する。併せて、この体験を通じて、3万6,000円も家族が修学旅行経費として用意してくれていることに対する感謝の気持ちも培いたい。

「キャリア教育」は、将来の職業選択に必要な基礎的能力を培うことを目的としている。職業観や勤労観は教えただけで育つものではない。あくまで、様々な体験、新しい体験や成功・失敗体験、体験の積み重ねによって身に付くものである。さらには、学校での体験だけではなく、家庭や地域社会の中での体験と結び付けることにより、大きな効果が期待できる。友達や保護者、地域の方々とふれあいながら勤労の苦労や喜びを実感し、自分にもやればできるという自信を獲得する。この自信が将来自立して生きていけるという新たな自信になり、将来への夢や希望につながっていくと思われる。

イ 地域の人との協働学習による取り組み

校区では、大名行列が地域の伝統行事として受け継がれている。これまで高学年の子どもたちは、合唱やボランティアなどで自主参加してきた。今年も販売活動を通して地域の行事に参画していくことにした。そこで、地域の代表の方と話し合い、バザー会場に手作り品を並べ、地域の方と肩を並べて品物の販売を行うこととなった。

ウ 単元の目標

- ・生産（栽培や製作等）から販売までの活動を通じて、経済の仕組みを知る。
- ・金銭を得ることの難しさ・おもしろさを体験することで、お金の意味や価値について気付く。
- ・消費者の興味や購買意欲、ニーズに合う製品を自分なりに工夫して生産できる。

- ・友達や家族、地域の人たちと積極的に交流し、より収益を上げるための工夫について考えることができる。
- ・生産や販売にかかわる人々の努力や工夫、思いについて考えたり共感したりしたことを自分の言葉でまとめることができる。(添付資料4 単元構想と本時の学習指導を参照)

エ 実践を振り返って

花の苗、木工製品、染め物製品の生産から販売までの経済活動を通して、経済の仕組みを学習した。同時に金銭を得る難しさやおもしろさ、生産・販売上の難しさも体験した。地元の商店街を中心に市場調査を行い、商店主や生産者のアドバイスを参考に販売会議を開き、地域の祭り「大名行列祭」に参加し、地域の人と共に6年児童の発案でバザーを行った。

5年生の時のボランティア経験が生かされ、地域ぐるみの温かいまなざしに支えられながら活動した。製作から販売まで一連の活動を通して試行錯誤を繰り返す中で金銭を得る苦労や勤労の値打ちを味わった。

4 内部・外部評価による改善 (添付資料5)

学習後、学校評議員や保護者の意識調査を行い成果と課題を洗い出した。また、それについて「外部評価委員会」の意見もいただいた。結果は良好で、多くの支持を得た。学校が家庭・地域と協働して金融教育を行う必要性が明らかになるとともに、学校教育の担う役割も明確になってきた。今後も内外の評価を効果的に行いつつ改善を図りたい。

5 おわりに

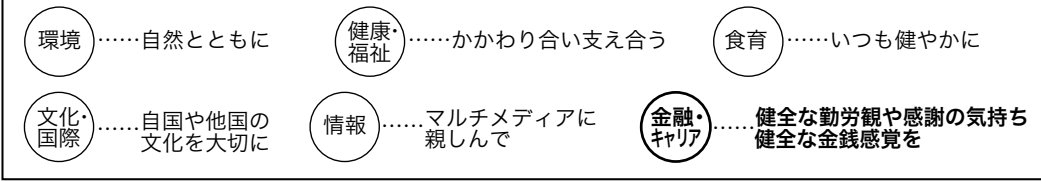
家庭・地域との連携・協働による本校独自の体験と実際のお金の取り扱い方重視の金融教育は、3年目の積み上げの成果が現われてきた。子どもが目的をもち、労働体験を重視した取り組みを行うことにより、正しい金銭感覚が身に付いてきている。共通の願いに向かって働く喜びや連帯感も生まれてきた。何よりも一人ひとりのお金の値打ち意識が高まってきた。また、地域の関心が高まり、協力体制が整ってきたことも嬉しい。さらに活動の場と質を吟味し、評価と改善を繰り返し、より充実した取り組みを指導・展開させたい。

添付資料1

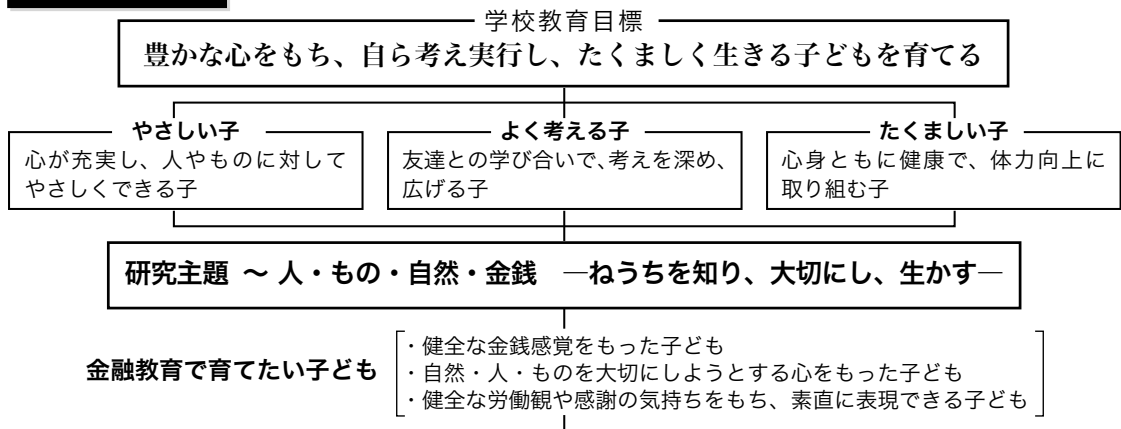
地域課題

- ・ 歴史・文化を大切に、守り伝える町に
- ・ 生命を尊重し、元気で活力のある町に
- ・ 自然を愛し、環境を豊かにする町に
- ・ 人とのつながりを大切に、かかわり合い支え合う町に

本校の重点課題



金融教育全体計画



教科	総合的な学習の時間(ちきり学習)	道徳	特別活動
各教科の中で、金融教育にかかわる内容を年間計画の中に位置付けて重点的に取り組む。取り組みを通して、思考力・判断力・表現力等の生きる力を育てる。 ・ 人の生き方、ものや自然の豊かさや価値を考える。 ・ 人々の生産活動、勤労観、消費生活を知る。 ・ 基礎的・基本的な数量計算や見当付けを知る。 ・ 自然、環境、生き物に積極的にかかわろうとする。 ・ 必要な生活習慣や技能を身に付ける。 ・ いろいろな表現方法に取り組み、豊かに自分を表現する。 ・ 材料の使い方を考え、リサイクルに取り組む。 ・ ものや金銭の使い方、消費生活について考える。 ・ 健康で安全な生活を考える。	身近な地域教材から自ら課題を見付け、問題解決に取り組みながら、自分の生きる力について考える。 【金融教育にかかわるねらい】 自分と地域とのかかわりに気付き、自分の生き方を前向きに考える感性を育てる。 学年テーマに基づき、地域を素材とした体験活動を取り入れ実践する。 ・ 自然 ・ 歴史・文化 ・ 環境 ・ 国際理解 ・ 福祉・ボランティア活動 ・ 情報 ・ 英語活動 ・ 食育 ・ キャリア教育	各教科や特別活動との関連を図りながら、金融教育を支える心情を養う。 【重点価値】 ＜節度・節制＞ ものや金銭を大切に。 ＜思慮・反省＞ 金銭の使い方について自分を振り返り、よく考えて行動する。 ＜規則の尊重＞ 時間を大切に。 ＜尊敬・感謝＞ 生活を支えている人に感謝する。 ＜勤労・社会奉仕＞ 働く意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知る。 ＜社会的役割と責任＞ 自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。 ＜家族愛＞ 家族の愛情を感じ取り、家族のために喜んで働く気持ちをもつ。 ＜生命尊重＞ 生命の尊さを感じ取り、命あるものや自然環境を大切に。	集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を養う。 [児童会活動] ・ あいさつ運動 ・ 委員会活動による奉仕活動 ・ クラブ活動によるチャリティーバザーへの参加 ・ 募金活動 [学級活動] ・ お小遣いの使い方 ・ みんなのものを大切に ・ 遠足について ・ 修学旅行への参加 ・ 敬老会への手紙 ・ 独居老人へのお花のプレゼント ・ 6年生を送る会へ向けてのプレゼント作り ・ 生活習慣病について考える。 ・ 食について考える。 ・ 将来の職業について考える。 [地域の活動への参加] ・ 大名行列への参加 ・ チャリティーバザーへの参加

家庭・地域社会との連携
授業や日々の教育活動に地域の教育力を取り入れ、家庭・地域の協働を通して、よりよい生活を築く。運動会、敬老会、チャリティーバザー、大名行列、学習参観等に積極的に取り組み、地域の一員としての自覚をもち、進んで地域にかかわっていかうとする態度を育てる。
学年だよりや PTA 新聞等を通して積極的に情報を発信し、家庭や地域の人々の協力を仰ぎ、教育活動に役立てる。

添付資料2

学年重点目標

	自然や資源、人やものを大切にしようとする心をもった子ども	健全な金銭感覚をもった子ども	健全な労働観や感謝の気持ちを持ち、素直に表現できる子ども
低	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然とふれあい、植物の栽培活動を通して自然を大切にすることを育てる。 身の回りの整理・整頓を通して、学用品や遊び道具の使い方を考え、必要に応じて工夫して活用する態度を育てる。 		<ul style="list-style-type: none"> 家族の人が働いて金銭を得ていることが分かり、感謝の気持ちを持ち、金銭を大切にしようとする態度を育てる。 野菜や花の栽培活動を通して働く喜びを知り、生産活動への意欲を高める。
中	<ul style="list-style-type: none"> 動植物の世話を通して命の尊さを知り、自然を慈しむ気持ちを育てる。 自然や環境に関心を持ち資源の再利用や節約の仕方を考え、自然を大切に生活に生かそうとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のお店などの学習を通して、無駄のない買い物の仕方や金銭の使い方を知り、お金やものを大切にしようとする態度を育てる。 生活習慣病に関心を持ち、食生活の無駄をなくして、工夫・改善しようとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族のために働いている人に感謝の気持ちを持ち、家族の一員として進んで働こうとする気持ちを育てる。 地域の役に立つことを考え、自分たちができることをしようとする意欲を高める。
高	<ul style="list-style-type: none"> 自然破壊や大気汚染の弊害について知り、地球環境を守ることの大切さに気付くようにする。 我が国の資源の有限性に気付く、自然や資源を大切にしようとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 決められた金額で食材を考えて調理する活動を通して、お金の値打ちを知り、大切に使う態度を育てる。 計画—栽培—製作—販売という体験を通して、金銭を得ることの難しさやおもしろさを体験し、働くことの尊さを実感したり、働く人の努力や工夫に共感したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族や地域の人の労働や協力によって生活が支えられていることが分かり、感謝の気持ちをもって活動することができる。 地域の一員として、積極的に動労体験やボランティア活動をしようとする態度を育てる。

実践計画

学年	単元名	内 容	時期 授業予定	関連
1年	◎冬野菜を育て、ちぎりっ子手作りなかよしバザーをひらこう	大根やかぶなどの冬の野菜を栽培し、バザーを開いて野菜や加工品、リサイクル工作などを販売する。	10月～2月 2/13(水) 学習参観	生活科 図工 学級活動
2年	◎夏のお花を育て、ちぎりっ子わくわくなえショップをひらこう	夏の花を調べ、種を買う。 花の苗を育てて学習参観日に家の人に販売する。	5月～7月 6/20(水) 学習参観	生活科 「町探検」 「花を育てよう」
3年	◎家庭や地域で集めた牛乳パックで紙すきをしよう	学校や地域で牛乳パックを回収し、再利用して、加工品を作る。 校内で参観日に販売する。	9月～12月 11/4(日) 日曜参観	ちぎり学習 自然・環境
4年	◎サツマイモ栽培を通して、食べ物を見直そう ○将来の職業について考えよう	体によい食べ物について調べる。 サツマイモを育て、加工食品などを作って販売したり、サツマイモの栄養や調理の仕方についてパネル展示などをする。 将来就きたい職業について調べ、夢や計画について話し合う。	5月～11月 11/4(日) 1月下旬	学級活動 「食と生活習慣病」 道徳・学級活動
5年	◎ぼくたち、わたしたちの衣類変身術 ○銀行の役割や仕事を知ろう	衣類をリサイクルし、地域の行うバザーに参加し販売する。 銀行の役割や仕事について調べたり、講話を聞いたりして、サービス業についての理解を深めるとともに、買い物消費生活について考える。	10月～ 11月上旬 11/4(日) 11月上旬	家庭科 「くらしと消費」
6年	◎自分たちで製作・販売し、修学旅行の費用に役立てよう ○中学入学の費用を知り、ものを大切にしよう	栽培・販売計画を立てて準備・製作し、大名行列で販売する。利益を修学旅行の費用の一部に充てる。 中学入学に必要な費用を調べ、購入計画を立てる。	9月～11月 10/20(土)・ 10/21(日) 3月上旬	ちぎり学習 学級活動 学級活動

金融・キャリア教育のあゆみ

《テーマ》人・もの・自然・金銭 ―ねうちを知り、大切にし、生かす―

1年 ちぎりっ子手作りなかよしバザーをひらき、人形劇団「キラキラ星」をよぼう



野菜名人の岡田さんに教わり大根作り



身近な自然とのふれあいを大切に

毎日世話をして、大きくなったよ。切干大根にして食べると栄養満点。ドングリで小物を作ったよ。バザーを開いて売ろう。

2年 心をこめて育てた花のなえを売ろう

ちぎりっ子わくわくなえショップを開いて、学級に役立つものを買おう



大切に育てて、花いっぱいにしてね。育て方も教えてあげるよ。

3年 牛乳パックで紙すきをしてバザーを開き、雨の日の遊び道具を買おう

自然や環境を大切にし、資源の再利用や節約の仕方を考え、生活に生かす。



牛乳パックを捨てないでリサイクルすると、こんなにすてきな紙皿やはがきができたよ。おうちの人と話し合って、生活マネー宣言を作ったよ。「ぼくは、新しいものを次々に欲しがらないで、今あるノートや消しゴムを大切に使うよ。」

4年 サツマイモから広げよう！人の輪、心の輪



サツマイモのつるで、リースができるよ。
栄養たっぷりのサツマイモで料理を作ろう。
学習参観に来た方に、サツマイモを買ってもらおう。
収益金で、今年も盲導犬ドリームを呼んで話を聞こう。

5年 不要品を活用し、みんなに喜ばれる商品を作って販売しよう

不要になった衣類の再利用について考え、ものや金銭を有効に使う。

市場調査 — 新1年生の保護者に入学時に必要なものをインタビュー。
家事に必要なものを家族に相談。

製作活動 — おうちの人と一緒に作り、衣類が新しく生まれ変わる感動を実感。

6年 自分たちで作ったものを販売した収益を修学旅行に生かそう

公開授業 — 広告、販売、値段グループに分かれ、地域の方に教えていただき販売会議。

地域の行事へ参画 — 大名行列で販売・ボランティア。



自分たちで作った花の苗、木工製品、草木染めの小物を地域の人に販売。

金銭を得る
目的

働く喜び
連帯感

金銭を得る
苦勞難しさ
値打ち

正しい
金銭感覚

単元構想「自分たちで作ったものを販売した収益を修学旅行に生かそう」(全13時間)

1 活動計画を立てよう (1時間)

- ◎修学旅行にかかる費用について知る。
- ◎生産・製作品について本やパンフレット、インターネットなどを使って調べる。
- ◎グループ編成を行い、販売・広告・値段担当を決める。
- 投資金額(材料費、広告費など)・利益との関係について知る。
- 利益を上げるためにはグループ内での協力が大切であることに気付く。

- ・生産(栽培や製作等)から販売までの活動を通じて、経済の仕組みを知る。
- ・金銭を得ることの難しさ・おもしろさを体験することにより、お金の意味や価値について気付く。
- ・消費者の興味や購買意欲、ニーズに合う製品を自分なりに工夫して生産できる。
- ・友達や家族、地域の人たちと交流し、より収益を上げるための工夫について考えることができる。
- ・生産や販売にかかわる人々の努力や工夫、思いについて考えたり共感したりしたことを、自分の言葉でまとめる。

2 企画書を作成し、商品製作のための予算を考えよう (2時間)

- ◎グループごとに分かれて市場調査を行う。
- ◎試作品を作る。
- ◎どんな材料が必要か、いくらかかるかなど企画書を作成する。
- 利益を上げるためには材料費をかけないことが大切である点に気付く。
- よい製品を作るための情報を得たり、できるだけ材料費を安くする方法を考えたりできる。
- 買い手を意識しての売り手の工夫に気付く。
- グループ内での話し合い・協力の大切さや、自分の担当分野の仕事の責任の大きさに気付く。

3 商品を作成しよう (6時間)

- ◎製作過程を確認しながら、1つ1つ丁寧に作成する。
- 買い手の気持ちを考えて製作することの大切さに気付く。

木工製品	苗	草木染め
<ul style="list-style-type: none"> ・コースターの飾り付けや鉛筆立ての飾り付けを行う。 ・できるだけ不要品を使い、元手をかけずに買い手の気を引く作品に仕上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苗の状態を観察しながら、水や肥料を与える。 ・草抜きや枯れた葉を取り除くなど毎日の世話をきちんと行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・染め液の濃さや媒染液によっての色の違いを見極め染め色を決める。 ・布の種類や絞りを方を変えたりすることによっていろいろな作品を仕上げる。

活動を振り返り、お金の意味や価値を考えよう (1時間)

- ◎製作にかかった費用と売り上げから、利益を計算する。
- ◎製作・販売を通してよかったこと、反省点について話し合う。
- 売するための製品作りの大変さ・利益を上げる難しさについて学ぶ。
- 得たお金のかげには多くの人々の援助があったことを理解し、感謝の気持ちを持ち、お金の使い方について考える。

市場調査を行う

- ・各担当ごとに自分たちの活動に必要な情報を収集する。

地域参加

- 第13回高松秋の祭り仏生山大名行列に参加
- ・他の店を回って買い物したり、自分たちの品物を売ったりする。
- ・客の反応から新たな課題や成果に気付くことができる。
- ・他の店主の工夫を知り、自分の販売の仕方に取り入れることができる。

4 販売計画を立てよう (3時間 本時2/3)

- ◎収集した情報の中から、活用できることを見つける。
- ◎販売・広告・値段担当がそれぞれの立場でお店に必要なものを作る。
- ◎消費者や店主などにインタビューする。
- 違うグループと交流し、商品のアピール方法を学び合う。
- 消費者の願いに気付き、商品アピールの中に生かす。
- 店主の製品に対する思いや商品販売の工夫について知る。

本時の学習指導

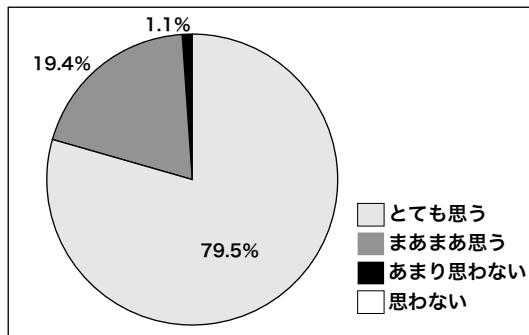
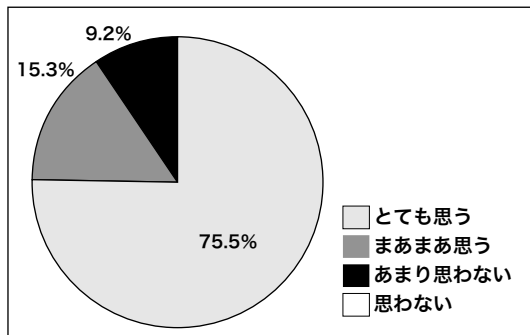
- (1) 目標 ・他の活動グループの友達や地域の人と交流することにより、値段は原材料費・広告費などその他様々な費用との関係から決まることを理解し、より収益を上げるためにはどうすればよいか考え、自分たちの考えを修正したり付け加えたりすることができる。
 ・販売者の苦勞や工夫、消費者の願いなどに気づき、商品製作や販売・宣伝方法に生かそうという意欲をもつことができる。

(2) 学習指導過程

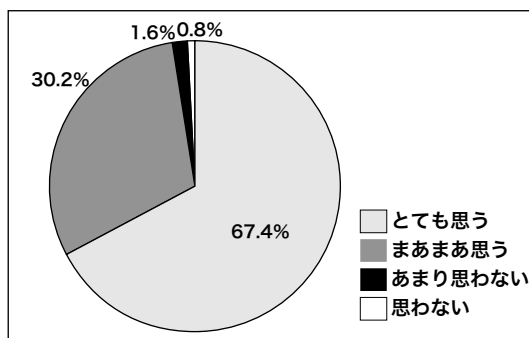
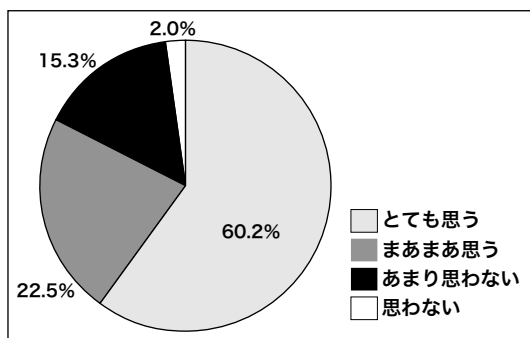
学習活動	児童の意識の流れ	教師の支援と評価																												
1 学習のめあてと学習の進め方を全体で確認する。	<p>他のグループの友達や地域の人と交流して、より収益を上げるためにはどうすればよいか考えよう。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td colspan="3">苗</td> <td colspan="3">木工</td> <td colspan="3">染め</td> </tr> <tr> <td>広告</td><td>販売</td><td>値段</td> <td>広告</td><td>販売</td><td>値段</td> <td>広告</td><td>販売</td><td>値段</td> </tr> </table>	苗			木工			染め			広告	販売	値段	広告	販売	値段	広告	販売	値段	<ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方をグループごとに確認し、見直しをもって活動に取り組めるようにする。 事前に家庭や商店街で宣伝・広告、販売方法、値段付けなどの観点から市場調査をさせておき、多様な考えが出るようにしておく。 										
苗			木工			染め																								
広告	販売	値段	広告	販売	値段	広告	販売	値段																						
2 活動グループごとに、今行っている活動や出ているアイデアを発表し合う。 (1) 具体的な案を示しながら、活動グループごとに発表する。	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td colspan="3">広告</td> <td colspan="3">販売</td> <td colspan="3">値段</td> </tr> <tr> <td>苗</td><td>木工</td><td>染め</td> <td>苗</td><td>木工</td><td>染め</td> <td>苗</td><td>木工</td><td>染め</td> </tr> <tr> <td>・花の写真を撮ってポスターにしようと思う。 ・ちらしを作って全校生に配るよ。</td> <td>・ちらしを学校だけでなく地域にも配りに行くよ。 ・ポスターをお店に貼らせてもらうよ。</td> <td>・有線放送で宣伝したらお金もかからないし、たくさんの方が来てくれるよ。</td> <td>・育て方や花言葉などをカードに添えたら喜んでくれるよ。</td> <td>・商品を手にとってみられるようにするよ。</td> <td>・種類ごとに分かりやすく商品を並べるよ。</td> <td>・子ども大人も喜んでもらえるように、いろいろな商品を作っているよ。</td> <td>・より高く売るために苗を大きく育てているよ。 ・土代、種代などを引いて収益の予想はしたい！</td> <td>・家の人や先生方にくらべて買ってくれるか聞いた平均で値段を付けたよ。</td> <td>・五百円以上買ってくれた人にはくじ引きができるサービスしよう。</td> </tr> </table> <p style="text-align:center;">← 地域の話 ← 地域の話 →</p>	広告			販売			値段			苗	木工	染め	苗	木工	染め	苗	木工	染め	・花の写真を撮ってポスターにしようと思う。 ・ちらしを作って全校生に配るよ。	・ちらしを学校だけでなく地域にも配りに行くよ。 ・ポスターをお店に貼らせてもらうよ。	・有線放送で宣伝したらお金もかからないし、たくさんの方が来てくれるよ。	・育て方や花言葉などをカードに添えたら喜んでくれるよ。	・商品を手にとってみられるようにするよ。	・種類ごとに分かりやすく商品を並べるよ。	・子ども大人も喜んでもらえるように、いろいろな商品を作っているよ。	・より高く売るために苗を大きく育てているよ。 ・土代、種代などを引いて収益の予想はしたい！	・家の人や先生方にくらべて買ってくれるか聞いた平均で値段を付けたよ。	・五百円以上買ってくれた人にはくじ引きができるサービスしよう。	<ul style="list-style-type: none"> 各商品グループで話し合ったアイデアを活動ごとにとりのこ用紙にまとめ、それをもとに発表することにより、各グループの違いが分かりやすいようにする。 実際にテントを立て商品を置いてみたり、ポスターやちらしの試作品を持って説明することにより、イメージがわかり、より具体的な話し合いができるようにする。 分からないことは自分から地域の人へ質問に行くように助言する。 地域の人には、児童から出なかった視点について、販売者・消費者両方の立場からアドバイスしてもらえるよう、事前に打ち合わせをしておく。
広告			販売			値段																								
苗	木工	染め	苗	木工	染め	苗	木工	染め																						
・花の写真を撮ってポスターにしようと思う。 ・ちらしを作って全校生に配るよ。	・ちらしを学校だけでなく地域にも配りに行くよ。 ・ポスターをお店に貼らせてもらうよ。	・有線放送で宣伝したらお金もかからないし、たくさんの方が来てくれるよ。	・育て方や花言葉などをカードに添えたら喜んでくれるよ。	・商品を手にとってみられるようにするよ。	・種類ごとに分かりやすく商品を並べるよ。	・子ども大人も喜んでもらえるように、いろいろな商品を作っているよ。	・より高く売るために苗を大きく育てているよ。 ・土代、種代などを引いて収益の予想はしたい！	・家の人や先生方にくらべて買ってくれるか聞いた平均で値段を付けたよ。	・五百円以上買ってくれた人にはくじ引きができるサービスしよう。																					
(2) 他の商品グループとの交流や、地域の人のお話から、修正したいことや付け加えたいことを考えてカードに書く。	<table border="1" style="width:100%;"> <tr> <td style="width:33%;"> <p>広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ポスターは人がたくさん集まるお店や商店街に貼ってもらうと良さそうだな。 そのお店らしさを出すといわれたので、何かいいキャッチコピーを考えよう。 写真を撮ってちらしに載せよう。 </td> <td style="width:33%;"> <p>販売</p> <ul style="list-style-type: none"> お客さんが欲しいと思えるような商品を作らなくちゃいけない。もう一度家族や先生方に取材してみよう。 見やすく買いやすい商品の並べ方には秘密があったんだ。僕たちもまねしてみよう。 </td> <td style="width:33%;"> <p>値段</p> <ul style="list-style-type: none"> 他のお店より高すぎたら買ってもらえないのは分かるけど、安すぎてもだめなんだ。値段付けて難しいなあ。 できるだけ安く売って利益が出るように何か工夫ができないか、販売グループとも相談してみよう。 </td> </tr> </table> <p style="text-align:center;">← 地域の話 ← 地域の話 →</p>	<p>広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ポスターは人がたくさん集まるお店や商店街に貼ってもらうと良さそうだな。 そのお店らしさを出すといわれたので、何かいいキャッチコピーを考えよう。 写真を撮ってちらしに載せよう。 	<p>販売</p> <ul style="list-style-type: none"> お客さんが欲しいと思えるような商品を作らなくちゃいけない。もう一度家族や先生方に取材してみよう。 見やすく買いやすい商品の並べ方には秘密があったんだ。僕たちもまねしてみよう。 	<p>値段</p> <ul style="list-style-type: none"> 他のお店より高すぎたら買ってもらえないのは分かるけど、安すぎてもだめなんだ。値段付けて難しいなあ。 できるだけ安く売って利益が出るように何か工夫ができないか、販売グループとも相談してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のグループの発表や地域の人との交流から、修正したり付け加えたりしたいと思ったことをカードに書き、自分たちのとりのこ用紙に貼っていく。 (評) 他のグループの友達や地域の人と主体的に交流することにより、自分たちの考えを修正したり付け加えたりすることができたか。 																									
<p>広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ポスターは人がたくさん集まるお店や商店街に貼ってもらうと良さそうだな。 そのお店らしさを出すといわれたので、何かいいキャッチコピーを考えよう。 写真を撮ってちらしに載せよう。 	<p>販売</p> <ul style="list-style-type: none"> お客さんが欲しいと思えるような商品を作らなくちゃいけない。もう一度家族や先生方に取材してみよう。 見やすく買いやすい商品の並べ方には秘密があったんだ。僕たちもまねしてみよう。 	<p>値段</p> <ul style="list-style-type: none"> 他のお店より高すぎたら買ってもらえないのは分かるけど、安すぎてもだめなんだ。値段付けて難しいなあ。 できるだけ安く売って利益が出るように何か工夫ができないか、販売グループとも相談してみよう。 																												
3 品物グループにもどって、販売会議を開く。	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td colspan="3">苗</td> <td colspan="3">木工</td> <td colspan="3">染め</td> </tr> <tr> <td>広告</td><td>販売</td><td>値段</td> <td>広告</td><td>販売</td><td>値段</td> <td>広告</td><td>販売</td><td>値段</td> </tr> <tr> <td>・ポスターをたくさん貼るといいアイデアだと思うけど、お金がかかるよ。どのくらいかかるのか計算してみよう。 ・値段を分かりやすく表示するという意見は私たちのグループからも出たよ。</td> <td>・商品をきれいな袋に入れてあげるのはいいけど、その分商品の値段を上げないと損をするよ。何か代わりになるものはないかな。</td> <td>・もっとたくさん商品を作って値段をもう少し安くしないと売れそうにないよ。 ・見本を置いて触らせてあげるといいよね。そうしよう。</td> </tr> </table> <p style="text-align:center;">← 地域の話 ← 地域の話 →</p>	苗			木工			染め			広告	販売	値段	広告	販売	値段	広告	販売	値段	・ポスターをたくさん貼るといいアイデアだと思うけど、お金がかかるよ。どのくらいかかるのか計算してみよう。 ・値段を分かりやすく表示するという意見は私たちのグループからも出たよ。	・商品をきれいな袋に入れてあげるのはいいけど、その分商品の値段を上げないと損をするよ。何か代わりになるものはないかな。	・もっとたくさん商品を作って値段をもう少し安くしないと売れそうにないよ。 ・見本を置いて触らせてあげるといいよね。そうしよう。	<ul style="list-style-type: none"> 品物グループにもどって得た情報を交換し、お互いの矛盾点を話し合うことにより、これからの計画を具体的に立てられるようにする。 教師はアドバイザーとして各グループで助言し、話し合いの観点を整理する。 							
苗			木工			染め																								
広告	販売	値段	広告	販売	値段	広告	販売	値段																						
・ポスターをたくさん貼るといいアイデアだと思うけど、お金がかかるよ。どのくらいかかるのか計算してみよう。 ・値段を分かりやすく表示するという意見は私たちのグループからも出たよ。	・商品をきれいな袋に入れてあげるのはいいけど、その分商品の値段を上げないと損をするよ。何か代わりになるものはないかな。	・もっとたくさん商品を作って値段をもう少し安くしないと売れそうにないよ。 ・見本を置いて触らせてあげるといいよね。そうしよう。																												
4 地域の人のお店の苦勞や喜びを聞き、考えたことを自分の言葉でまとめる。	<p>地域の話</p> <ul style="list-style-type: none"> ものを売ってお金を儲けるって大変なんだな。 実際のお店の方は、いろいろ努力したり工夫したりしているんだ。 儲かったらもちろん嬉しいけど、お客さんが喜んでくれることも嬉しいんだね。 私たちがたくさん商品を買ってもらえるように、お客さんに喜んでもらえるように、もっと工夫しよう！ 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人に販売の苦勞や喜びについての話をしてもらうことで、児童に新しい視点を与えらるとともに、今後の活動の意欲化を図る。 																												
5 次時の課題をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> いろいろなお客さんのニーズに合わせた商品を作ろう。 ポスターを貼るだけでなく、声をかけて宣伝しよう。 利益を上げるためにはもっとたくさん商品を作らないといけない。がんばろう！ 	<ul style="list-style-type: none"> (評) 販売者の苦勞や工夫、消費者の願いなどに気づき、商品製作や販売・宣伝方法に生かそうという意欲をもつことができたか。 																												

平成17年度 (1年生・
調査対象 98人)平成18年度 (2年生・
調査対象 90人)

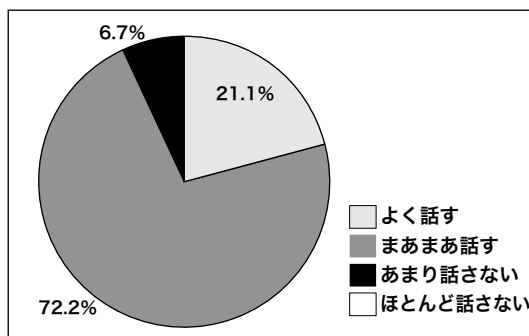
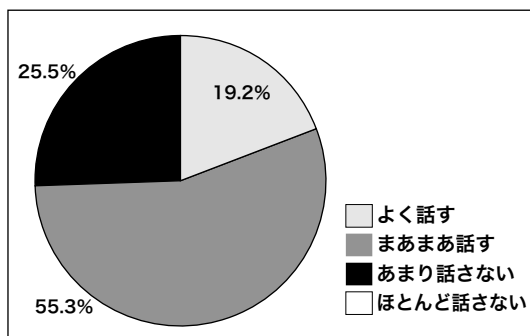
問い1 今日の学習は、お子さんにとってためになったと思いますか。



問い2 目標をもって働き、得た収入でクラスで決めたものを買うという金融教育は、必要だと思いますか。



問い3 ご家庭でお金についてお子さんと話すことはありますか。



上記の結果から、前年度に比べてどの項目も金融教育への関心が高まりつつあることが分かる。特に「学習がためになったか。」という問いについては、ためになったと考えている保護者の方が、9割以上に増えていることが分かる。また、金銭の使い方について話し合う家庭も徐々に増えている。これは、保護者参加型の学習を通して本校の金融教育に対する関心が高まり、理解と協力が得られるようになってきたためと思われる。これからも金融学習を通して啓発をしていきたい。

【保護者の感想】

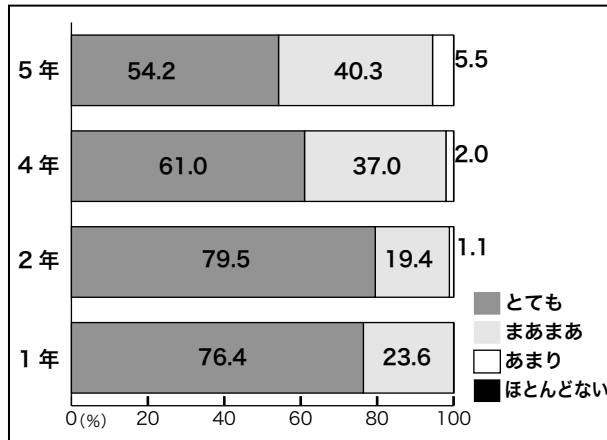
- ・「働く喜びや苦労」「大切に育てたものの販売」という実体験できる授業は、これからの生活にプラスになる。
- ・売るものを自分で作ることは、よい経験。お金を出せば何でも簡単に手に入る日常で、作ることにこれだけの手間や時間が必要なことが学べた。お金を得るには、大変さが伴うことも感じ取れた。
- ・準備の段階から親もかかわれたので、一緒に頑張れたという連帯感ももてた。
- ・買い手には「大切に育てる」、売り手には「大切に育ててほしい」という思いがあり、どちら側も愛情がなければ成り立たないと思う。前年の学習のステップアップとしてよい経験になった。子どもたちも生き生きとしていて、誇らしそうだったのが印象に残った。

全体

保護者アンケートの結果より 平成 18 年度

(調査対象 334 人、1 年 72 人、2 年 90 人、4 年 100 人、5 年 72 人)

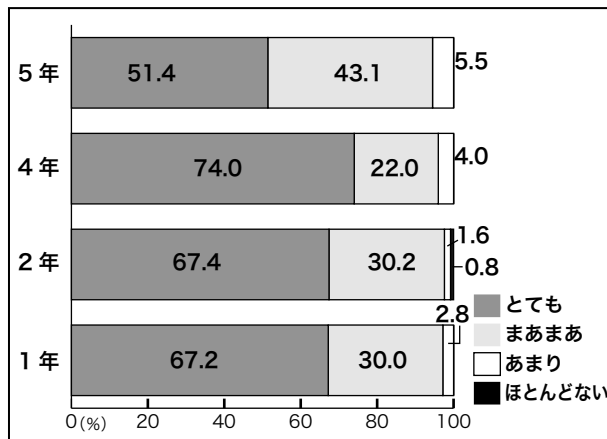
1 この学習は、お子さんにとってためになったと思いますか。



どの学年も過半数が、この学習をとってもためになったと考えていることが分かる。保護者参加型の学習を取り入れ、休日を利用して家庭学習を行い、保護者とかかわりながら学習を進めてきたためと思われる。

- ①目的意識をもつ
 - ②保護者参加型の学習を展開する
 - ③実際に金銭を使用して学習する
- の3つの観点を取り入れ、学年の発達段階や系統性を考えた活動を組み、子どもにとってより豊かな体験となるよう工夫した成果と思われる。今後も家庭との協働体制で学習を進めていきたい。

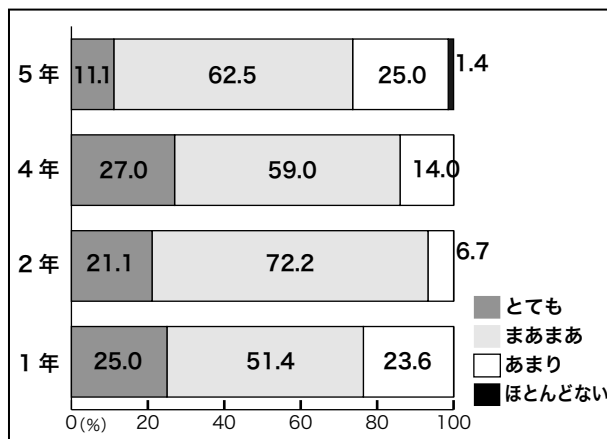
2 これからも金融教育は、必要だと思いませんか。



金融教育の必要性についても9割以上の方が、必要だと考えていることが分かる。

特に、働く喜びや収入を得ることの難しさを理解してほしいと望んでいる。また、金銭を得る仕組みを知ることで節約を学び、加工や再利用をしてものを大切にする心を育てることも大切だと考えている。そして、学年に合った観点での学習を望み、お金の正しい使い方だけでなく、生活の糧を得ている家族への感謝の気持ちも育てほしいと願っている。このような保護者の願いを実現するためにも金融教育を推進していくことの意義は、大きい。

3 お金についてお子さんと話すことは、ありますか。



どの学年の保護者の方もお金について話す機会をもっている家庭が7割以上を占めている。

話し合う内容は、お金の大切さや使い方、家族の収入で生活できていること、ものを大切にすることなどがほとんどである。

よく話すと答えた方は、2割程度にとどまっている。さらに、家庭との連携を考えた学習を工夫する必要がある。

保護者の方のアンケートの結果、80%近くの保護者が、金融教育の必要性を強く実感していることが分かった。昨年からの保護者の金融教育についての関心は、かなり高まってきている。

また、目的をもってお金を儲けることについてもほとんどの保護者は、必要だと感じている。「学級のみinnで楽しめるものを買おう」という目的意識をもってお金を儲けることで、子どもたちの主体性が高まった。活動意欲の持続にもつながった。

金融・キャリア教育だより

高松市立仏生山小学校
平成19年度 第1号

6月20日(水)の学習参観を利用し、2年団の金融・キャリア学習が行われました。保護者参加型学習が定着し「ちぎりっ子わくわくなえショップ」では、多数の保護者が参加し、子どもたちとともに苗の販売をしました。昨年度からの積み上げにより、おつりの計算や売り買いの手順も慣れた様子で、活気あふれる活動風景が見られました。



自分たちで育てた花の苗について、調べたことをポスターセッションで紹介しました。花の特徴や用途、育てる際の注意点等、写真や絵、文章で分かりやすくアピールしました。

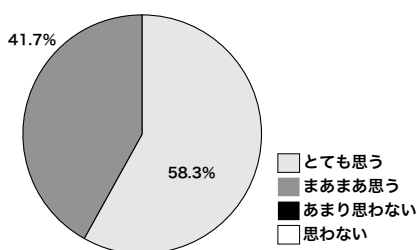


グループで役割を分担しながら、手際よく販売しました。事前に生活科や学級活動の時間を利用して看板を作り、役割を分担してバザーに臨みました。家族で相談しながら、仲よく苗を買う姿が見られました。

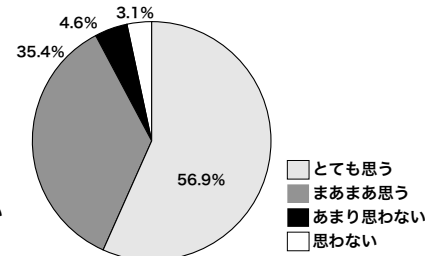
【アンケートより】今年も保護者と子どもにアンケートを取り、意識調査をしました。結果は、次のとおりです。

〈問い〉今日の学習は、ためになったと思いますか。

保護者(対象72人)

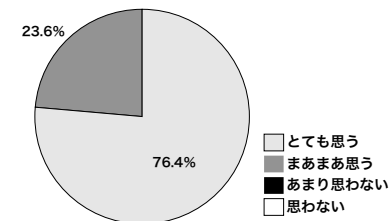


子ども(対象65人)



保護者も子どもたちも、ほとんどが、ためになったと考えており、有意義な実践だったことがうかがえる。

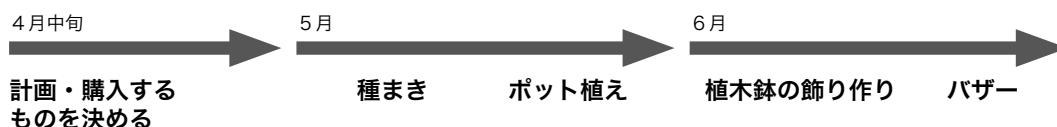
昨年度の保護者(参考例・対象72人)



〈保護者の声〉

- ・2年間の取り組みを通して、お金の価値観やもの大切さが分かってきた。
- ・一生懸命に活動する子どもの姿が見られ、成長を感じた。
- ・お金に興味をもち、お金の大切さを話すようになった。
- ・昨年の大根バザーの学習が生きていて、「大根〇本分だ。」という話題になることもあった。

活動の流れ



これからもこのような本物のお金にふれる体験を積み上げ、本校の金融・キャリア教育を充実したものにしていきたいと思ひます。

《バザー当日の様子》 2月9日

グループでお店の名前を決め、看板やアピール文を大きな声で紹介しました。みんな、たくさんのお客さんが来てくれるように一生懸命です。エプロン姿もよく似合っています。



算数の学習で、「100までの数」を習った子どもたちは、自分の買った品物の金額をワークシートにシールを貼って計算しました。100円というかぎられた金額の中でうまく自分の欲しいものを買うためにうちのひとと相談しました。少しは買い物上手になれたでしょうか。



今まで自分たちが一生懸命に作った木の実の木工作品や、大切に育てた大根・切干大根などをたくさん売って人形劇を見ようと頑張っています。また、大きな声で売り込みをしたり、お客さんの対応をする子どもたちを温かいまなざしで見守るうちの方、みんなの表情が生き生きとしています。おつりを数えたり、品物を袋に入れたりするときのうちの方のさりげないサポートがとてもほほえましく思いました。長寿会の方もたくさん買ってくださいました。保護者の皆様とともに価値ある体験ができ、担任一同ありがたく思っております。ありがとうございました。

【保護者の方々の感想】

- 大きな声でものを売ることや、悩みながら買うことはよい経験になった。
- 100円というお金が実感でき、子どもにもお金の大切さが分かったと思う。
- 算数の学習を実践で行うことが有意義であった。
- 子どもが楽しそうに活動していたのがよかった。子どもと一緒に活動できて楽しかった。
- 子どもの作品がかわいかったし、切干大根にレシピがついていたので、すぐ調理ができ便利だった。

- 兄弟がいる親にとっては大変だった。
- 時間がかかりすぎ。時間を守って、他の学年と合わせて欲しい。
- もう少し長い時間でやればよい。
- 参加型は、時間をずらしてほしい。または、日曜参観にしてはどうか。

たくさんのご意見ありがとうございました。